官報

第七千五十五號　　明治四十年一月八日　火曜日　　印刷局

○告示

文部省告示第一號

宮城縣仙臺市立仙臺商業學校ノ位置ヲ同縣同市上杉山通ニ變更ノ件認可セリ

明治四十年一月八日　　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第二號

宮崎縣南那珂郡福島村大字西方字下夕町ニ設置セル村立正式電報信號標ハ破損ニ付修繕中揚卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治四十年一月八日　　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第三號

私立阿知須圖書閱覽所ヲ山口縣吉敷郡井關村立阿知須尋常高等小學校內ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十年一月八日　　文部大臣　牧野伸顯

遞信省告示第二號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十年一月八日　　遞信大臣　山縣伊三郎

英貨	一パウンド	九圓	七九五九	一圓ニ付2/0½	一圓ニ付二「シルリング」〇「ペンス」五〇〇
	一シルリング		四八一九八〇		
	一ペンニー		四一〇八二		
佛貨	一フランク		三九〇九〇	一圓ニ付二「フランク」五十五「サンチーム」八二〇	
米貨	一ダラー	二	〇二五三二	一圓ニ付49½即四十九「セント」三七五	
	一セント		二〇二五		
墨貨	一マルク		四八二一〇	一圓ニ付二「マルク」〇七「フェニヒ」三八三	
獨貨	一フロリン		九二七三〇	一圓ニ付一「フロリン」二十「セント」八七五	
墨地判貨幣	一クローネ		四一三三〇	一圓ニ付二「クローネ」四十一「ヘルレル」九五五	
洪國判貨幣	一コロナ				

		香港洋銀		墨銀	
		一ダラー	一セント	一ダラー	一セント
一圓ニ付	八十九「セント」八八八	一二三五〇			
一圓ニ付	八十八「セント」四九六	一二三〇		一二三〇〇〇	

（備考）羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ

＊香港爲替中劉公島及寧波ニ振出ヲルモノニハ墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振出ヲルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○敍任及辭令

○明治四十年一月七日

任主理

敍高等官七等

任主理

敍高等官七等

參謀本部第一部長陸軍少將　松川　敏胤

主理試補　潮見　茂樹

主理試補　松岡　開

明治四十年陸軍始觀兵式諸兵參謀長被仰付（七月內閣）

京都ヘ被差遣（七日宮內省）　東宮侍從子爵　大迫　貞武

四級俸下賜（廿九日內務省）　臨時檢疫事務官　內野　仙一

京都府ヘ出張ヲ命ス（四日同）　臨時檢疫事務官　安東久次郎

參謀本部第四部長陸軍砲兵大佐　大島　健一

明治四十年陸軍始觀兵式諸兵參謀長被免（七日陸軍省）

免本職常磐乘組被仰付　吳水雷團附海軍中軍醫　竹居　光積

常磐乘組被免　海軍中軍醫　橋本　正直

特命被仰付（吳ニ勤在ス）　海軍中軍醫　橋本　正直

浪速主計長兼武藏主計長海軍大主計　齋藤　久助

免本職竝兼職補新高主計長兼千早主計長　新高主計長兼千早主計長海軍大主計　田邊　齊藏

免本職竝兼職補浪速主計長兼武藏主計長　橫須賀海軍工廠儲品廠員海軍大主計　黑田太一郎

免本職補橫須賀海兵團附

停職被仰付（佐世保ニ勤在ス）　海軍中主計　秋野　沆

免本職　橫須賀海兵團附海軍中主計　渡邊　英麿

許可 7055 本文

○宮廷錄事

○英照皇太后御例祭次第　本月十一日

英照皇太后御例祭次第左ノ如シ

一　午後一時　掌典長祭場ニ入リ祭具ヲ供ス

一　同二時　掌典長祭場ニ入リ祭儀ヲ行フ

一　同二時三十分　掌典長祭場ヲ出ツ

一　同三時　掌典長祭具ヲ撤ス

○英照皇太后御例祭次第

一　午後一時　掌典長祭場ニ入リ祭具ヲ供ス

一　同二時　掌典長祭場ニ入リ祭儀ヲ行フ

一　同二時三十分　掌典長祭場ヲ出ツ

一　同三時　掌典長祭具ヲ撤ス

○彙報

○官廳事項

○市長就任

愛知縣愛知郡名古屋市市長正六位勳五等安藤正純ハ市制第百十二條ニ依リ本月七日就任ス

○官吏懲戒

九年十二月三十七日　出仕　正六位勳五等安藤正純　名古屋市長

○陸海軍

○陸軍衛戍業務

陸軍歩兵第四聯隊ニ於テ

本月二十九年十二月二十七日左記ノ者ニ各聯隊衛戍業務ヲ付セリ（偕行社）

大阪陸軍兵　工兵二等卒　岡田　次郎　滋賀縣平民　大阪陸軍兵　工兵二等卒　植田　管三郎

大阪陸軍兵　工兵二等卒　永島　與一　滋賀縣平民　大阪陸軍兵　工兵二等卒　小川　藤次郎

○海軍

○海軍中將許可

海軍中將　渡邊　英彥

○海軍大佐許可

海軍大佐　谷山　國信

○海軍大佐兼務

海軍大佐　谷山　國信

○海軍大佐兼務

海軍大佐　谷山　國信

○海軍大佐兼務

○官廳會議

○日本赤十字社彙事

○御沙汰書

○帝國圖書館報告

○叙位

○叙勲

○辭令

○官廳公告

○官吏進退

○財政

○産業

第 7055 号　本文

○通運

○造船鉄鋼許認可付

○在外公館報告

○天津領事館管轄地方ニ於ケル新嘉坡米況

○新嘉坡米況ニ付キ在同地領事館ヨリ左ノ如キ電報アリ

○孟買綿花市況

○神戸生糸及綿花市況

○観象

○初雪

○九州各港ノ氷結

○地震

○天氣豫報

○全國氣象

○全國天氣概觀

○東京地方天氣豫報

○天氣實況

○氣象電報

○氣象報告

○氣象通報

○氣象觀測所

○氣象觀測所報告

○氣象觀測所觀測

○氣象觀測所觀測報告

○氣象觀測所觀測報告ノ如シ

○氣象觀測所觀測報告ノ如シ

○氣象觀測所觀測報告ノ如シ

○土地收用公告

左ノ事業ニ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　鐵道作業局

事業ノ種類　鐵道敷設

起業地　富山縣下新川郡泊町ヨリ新潟縣西頸城郡市振村ニ至ル間

右公告ス

明治四十年一月八日　内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

○廣告

○官報發賣手續

一　官報ハ左記ノ官報發賣所ニ於テ發賣ス其ノ他ノ書肆ニ於テハ發賣セス

二　官報ノ定價ハ何月分ハ本局ニ於テ左記ノ發賣所ニ於テハ何月分ハ其ノ發賣所ニ於テ豫メ定價ヲ以テ發賣ス

三　官報發賣所ニ於テ官報ヲ購求セントスル者ハ何月分ハ本局ニ何月分ハ其ノ發賣所ニ代價ヲ豫納スヘシ

官報一部ノ代價ハ何月分ハ何錢何厘トス（但シ郵稅ヲ除ク）

但シ郵稅ハ一部ニ付何錢何厘トス

官報ノ定價ハ何月分ハ何錢何厘トス

○失踪宣告

新潟縣西蒲原郡吉水村大字鷲ノ巣百番戸士族
元陸軍歩兵少尉　正八位　勲六等　功七級
小林一郎

右ノ者ハ明治三十九年十二月二十日ヨリ本籍ヲ去リ其ノ後音信ナキヲ以テ民法第三十条ノ規定ニ依リ明治四十年一月八日ヨリ失踪ノ宣告ヲ為シタリ

明治四十年一月八日

東京區裁判所
裁判官　判事　阿川澄藏

○不在者ノ財産管理人ノ選任

島根縣知夫郡赤尾村大字赤尾田四十八番屋敷
不在者
士族　元陸軍歩兵少尉　正八位　勲六等　功七級
小林一郎

右ノ者ハ明治三十九年十二月二十日ヨリ本籍ヲ去リ其ノ後音信ナキヲ以テ民法第三十条ノ規定ニ依リ明治四十年一月八日ヨリ不在者ノ財産管理人ヲ選任シタリ

明治四十年一月八日

西巢鴨區裁判所
裁判官　判事　伊垣增藏

○不在者ノ財産管理人ノ選任

東京府北豊島郡巣鴨村大字巣鴨四百十七番屋敷
不在者
士族　元陸軍歩兵少尉　正八位　勲六等　功七級
小林一郎

右ノ者ハ明治三十九年十二月二十六日ヨリ失踪ノ宣告ヲ為シタル處本日ヨリ不在者ノ財産管理人ヲ選任シタリ

明治四十年一月八日

弘前區裁判所
裁判官　判事　西村重藏

○臺灣銀行第參綴行週報

臺灣銀行參綴行（自明治三十九年十二月二十四日至明治三十九年十二月三十日）

	明治三十九年十二月三十日	明治三十九年十二月二十三日
總資產	九、七七五、二〇二、五	九、七七五、二〇二、五
金銀現在高	一、七〇一、六二二、〇九五、〇〇〇	一、七〇一、六二二、〇九五、〇〇〇
金貨	四、〇〇一、六二二、〇九五、〇〇〇	四、〇〇一、六二二、〇九五、〇〇〇
銀貨	二、八七四、九七一、〇〇〇	二、八七四、九七一、〇〇〇
地金銀	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
金銀證書發行高	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
金銀證書發行準備	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
金貨	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
銀貨	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
地金銀	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
金銀證書發行準備	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
金貨	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
銀貨	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇
地金銀	二、一二八、四九七、〇〇〇	二、一二八、四九七、〇〇〇

明治三十九年十二月三十一日

株式會社臺灣銀行
東京支店

○華族世襲財産

一、東京府豊島郡巣鴨村大字巣鴨字北谷戸百番地
一、宅地　壹千百坪

承ケ世襲財産ト為シタル旨ヲ出願ノ處明治四十年一月九日マテニ異議ノ出願ナキニ付右ハ世襲財産ニ編入セラレタリ

明治三十九年十二月二十七日

東京府

○正誤

官報第七百五十九號ノ内閣官報局外國新聞切抜ノ項ニ掲ケタル

一、露國北京電報ノ内「本月十二日正午十二時露國公使館ニ於テ」ヲ「本月十二日正午十二時露國公使館ニ於テ露國公使ヲ」ニ訂正ス

一、露國北京電報ノ内「本月十四日正午十二時露國公使館ニ於テ」ヲ「本月十四日正午十二時露國公使館ニ於テ露國公使ヲ」ニ訂正ス

○東京市外電話線切斷

明治四十年一月六日午後十一時ヨリ翌七日午後七時迄ノ間ニ於テ東京市外電話線ハ左ノ通リ切斷セラレタリ

小雀驛	東京局	八日同日午後七時迄
包留通	東京局	八日同日午後九時半迄
同	青梅局	八日同日午後七時迄
同	青梅局	同日午後五時迄
同	青梅局	八日同日午後十一時半迄

○東京市外電話線切斷

明治四十年一月七日午後十一時ヨリ翌八日午後七時迄ノ間ニ於テ東京市外電話線ハ左ノ通リ切斷セラレタリ

小雀驛	東京局	八日同日午後七時迄
包留通	東京局	八日同日午後九時半迄
同	青梅局	八日同日午後七時迄
同	青梅局	同日午後五時迄
同	青梅局	八日同日午後十一時半迄

○臨時休業

今八日證券取引所ハ定例ノ休業ニ付取引ヲ為サス

（二四）

官報第七千五十五號附錄

明治四十年一月八日

敍任及辭令

左記ノ者今般各願書ノ通訂正セラル

正　誤

五月二十六日　中込俊次郎（三七、一〇、三）
中込俊次郎　五月二十六日（三七、一〇、三）

田中　清次（三八、七、一）
田中　清次（三八、七、三〇）

八月二十日　町田　高遠（三八、七、一）
八月二十一日　町田　高遠（三八、七、一）

八月二十一日　野田　高遠（三八、七、一）
八月二十一日　野田　高遠（三八、七、一）

中川　辰次（三八、七、一）
中川　辰次（三八、七、一）

八月二十一日　河崎　佐一（三八、七、三五）
八月二日　河崎　佐一（三八、七、三五）

八月二日　富田　榮次（三八、七、一）
富田　榮次（三八、七、一）

八月二日　北川馬治郎（三八、七、一）
北川馬治郎（三八、七、一）

八月二日　西川　又吉（三四、三九）
八月二日　西川　又吉（三四、三九）

井上五郎兵衛（三四、一）
井上五郎兵衛（三四、一）

水田　一二（三八、七、三九）
水多　一二（三八、七、三九）

八月三十一日　古賀仁次郎（三八、七、三）
八月三十一日　古賀仁次郎（三八、七、三）

鐙倉　市藏（三八、七、三三）
鐙倉　市藏（三八、七、三三）

寒村　源次（三八、七、三六）
寒村　源次（三八、七、三六）

山口留治郎（三八、七、三一）
山口留治郎（三八、七、三一）

小松峯吉（三八、七、三五）
小松峯吉（三八、七、三五）

九月十三日　井上伊太郎（三八、七、三五）
九月十三日　井上伊太郎（三八、七、三五）

九月十三日　蹊村友次郎（三八、七、三四）
九月十三日　蹊村友次郎（三八、七、三四）

石井仲治郎（三八、一〇、一）
石井仲次郎（三八、一〇、一）

歩兵伍長　（四二七、一〇、三四）
歩兵伍長　（四二七、一〇、三四）

中島安千代
中島安千代

九月十六日　上原　傳重（四二七、一〇、三四）
九月十七日　上原　傳重（四二七、一〇、三四）

服部友治郎（四七、一〇、二四）
服部友治郎（四七、一〇、二四）

服部友次郎
服部友次郎

鳥井鯛治郎（三七、一〇、一八）
鳥井鯛次郎（三七、一〇、一八）

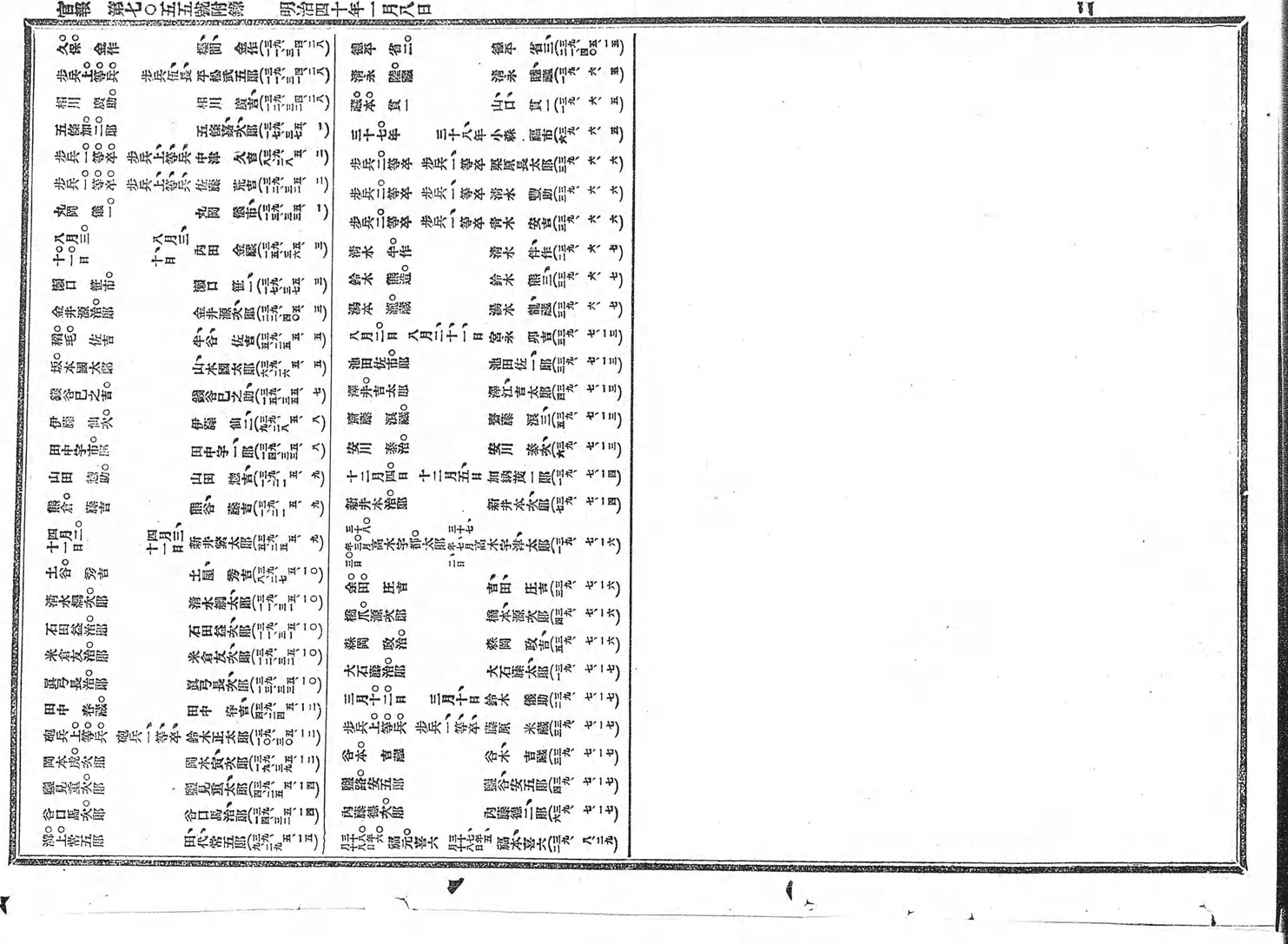
敍任及辭令正誤（敍任及辭令ノ項目ナキ分ハ本月日附官報ノ項目ナリ）

加來由太郎（三八、一〇、一九）	賞勳局書記官	賀來由太郎（三八、一〇、八）	
十月十二日	谷村　萬吉（六二、一〇、一八）	十月十二日	谷村　萬吉（六二、一〇、一八）
十月十三日	笠島　猪熊（六六二、一〇、一四）	十月十四日	笠島　猪熊（六六二、一〇、一四）
羽田才治郎（七六、一〇、一三）		羽田才次郎（七六、一〇、一三）	
丸　元次（八〇三、一〇、一三）		丸　元治（八〇三、一〇、一三）	
川邊榮次郎（八〇九、一〇、一四）		河邊榮次郎（八〇九、一〇、一四）	
大岡忠治郎（八一〇、一〇、一七）		大岡忠次郎（八一〇、一〇、一七）	
中山　晉治（三八、一〇、一五）		中山　晉治（三八、一〇、一五）	
十一月五日	十一月四日	十一月五日	十一月四日
京德助左工門（三八、一〇、一五）		京德助右衛門（三八、一〇、一七）	
舟見助次郎（三八、一〇、一七）		船見助次郎（三八、一〇、一七）	
渡邊　幸吉（三八、一〇、一七）		渡邊　孝吉（三八、一〇、一七）	
新保　又藏（三八、一〇、一七）		新保　又三（三八、一〇、一七）	
宇田川鐵之助（三八、一〇、一八）		宇田川鐵之助（三八、一〇、一八）	
川副政治郎（三八、一〇、一八）		川副政次郎（三八、一〇、一八）	
松島安治郎（三八、一〇、一八）		松島安次郎（三八、一〇、一八）	
大塚由治郎（三八、一〇、三〇）		大塚由次郎（三八、一〇、三〇）	
田中　寛平（三八、一〇、三〇）		田中　寛市（三八、一〇、三〇）	
横川　清治（三八、一〇、三〇）		横川　清次（三八、一〇、三〇）	
砲兵上等兵	劍持來藏（三八、一〇、三一）	砲兵一等卒	劍持來藏（三八、一〇、三一）
十二月一日	十二月五日	十二月一日	十二月五日
辻井　仁左（三八、一〇、三一）		辻井　仁佐（三八、一〇、三一）	
久保　昇造（三八、一〇、三一）		久保　昇藏（三八、一〇、三一）	
鈴木清治郎（三八、一〇、三一）		鈴木清次郎（三八、一〇、三一）	
駒林　門次（三八、一〇、三一）		駒林　門造（三八、一〇、三一）	
劍持信次郎（三八、一〇、三一）		劍持信次郎（三八、一〇、三一）	

漆原治眞吉（三八、一〇、三二）		漆原治郎吉（三八、一〇、三二）	
歩兵特務曹長	歩兵曹長	朝倉新兵衛（三八、一一、二五）	
谷岡　豐藏（三八、一一、三七）		谷岡　豐造（三八、一一、三七）	
山口周治郎（三八、一一、三八）		山口周次郎（三八、一一、三八）	
北尾安治郎（三八、一一、三八）		北尾安次郎（三八、一一、三八）	
鈴木芳之介（三八、一一、三八）		鈴木芳之助（三八、一一、三八）	
坂東三次郎（三八、一一、三八）		坂東三次郎（三八、一一、三八）	
松長宅次郎（三八、一一、三九）		松永宅次郎（三八、一一、三九）	
神田市三郎（三八、一一、一）		神田市太郎（三八、一一、一）	
岡崎松五郎（三八、一一、四）		岡崎松太郎（三八、一一、四）	
三月五日	三月六日	三月五日	三月六日
齊藤直治郎（三八、一一、四）		齊藤直次郎（三八、一一、四）	
酒井貞治郎（三八、一一、四）		酒井貞次郎（三八、一一、四）	
菊池　介藏（三八、一一、四）		菊地　介藏（三八、一一、四）	
三月六日	閼口　宇吉（三四、三九）	三月六日	閼口　宇吉（三四、三九）
松浦　休八（三八、一一、五）		松浦　久八（三八、一一、五）	
青山覺治郎（三八、一一、五）		青山覺次郎（三八、一一、五）	
佐藤八重治（三八、一一、五）		佐藤八重次（三八、一一、五）	
佐々木佐太郎（三八、一一、六）		田上佐太郎（三八、一一、六）	
逸井竹治郎（三八、一一、七）		逸井竹次郎（三八、一一、七）	
伊藤讓治郎（三八、一一、七）		伊藤讓次郎（三八、一一、七）	
丸山由太郎（三八、一一、九）		丸山芳太郎（三八、一一、九）	
三月八日	三月十日	中村　礒松（三八、一一、九）	
鈴木永治郎（三八、一一、一〇）		鈴木永次郎（三八、一一、一〇）	
新田竹治郎（三八、一一、一二）		新田竹次郎（三八、一一、一二）	
藥研　正吉（三八、一一、一二）		藥研　政吉（三八、一一、一二）	
北原勘治郎（三八、一一、一二）		北原勘次郎（三八、一一、一二）	
七月十三日	七月十四日	久芳　喜一（三八、一一、一四）	
富永猪之吉（九八、二、二九）		富永猪之助（九八、二、二九）	

福井長次郎（三九、二、二九）		福井長治郎（三九、二、二九）	
十一月十三日	武限　元吉（三九、一、四）		
十二月一日	推名　太郎（四二八、一、四）		
黑崎　七郎（六、一〇、一四）		前端　源吾（四四、四八、一、六）	
安井周治郎（三九、一二、一〇）		狹間　政喜（四二、四二、一四）	
十一月十五日	大田黑喜一郎（四二、一二、四三）		
三月四日	米澤　幸作（四五、六、四六）		
難波　房吉（三九、四、二）		林　福太郎（三九、四、二）	
宮崎　堅吾（三九、四、三）		宮崎　堅吉（三九、四、三）	
福澤　英雄（三九、四、三）		福澤　英勇（三九、四、三）	
前田龜三郎（三九、四、三）		前川龜三郎（三九、四、三）	
眞鍋　文藏（三九、四、三）		氏家　文藏（三九、四、三）	
篁田柳太郎（三九、四、三）		久保田柳太郎（三九、四、三）	
小竹　才吉（三九、四、三）		小竹　才治（三九、四、三）	
漆崎熊一郎（三九、四、三）		漆崎熊次郎（三九、四、三）	
總川　銓三（三九、四、三）		總川　銓藏（三九、四、三）	
歩兵一等卒	野田　重吉（三九、四、三）	歩兵二等卒	野田　重吉（三九、四、三）
十一月二十六日	塙　作平（三九、四、三）	十二月二十六日	塙　作平（三九、四、三）
十二月二十七日	金指　源藏（三九、四、三）	十一月二十七日	金指　源藏（三九、四、三）
國藤　拳吉（三九、四、三）		岡藤　拳吉（三九、四、三）	
野呂　二作（三九、四、三）		野呂　仁作（三九、四、三）	
石田龍次郎（三九、四、三）		石橋龍次郎（三九、四、三）	
吉村半三郎（三九、四、三）		吉村半三郎（三九、四、三）	
三木彌市郎（三九、四、三）		三木彌一郎（三九、四、三）	

敍任及辭令　官報　7055



第 7055 号　敍任及辭令